

番号	2	平成27年度公共事業再評価調査		担当課名 道路整備課		
事業名	道路改築事業		事業主体	静岡県		
箇所名	一般県道 <small>よしざわかなやせん</small> 吉沢金谷線		関係市町村	菊川市		
事業採択年度	平成23年度	計画期間	平成23年度～平成29年度			
用地着手年度	平成25年度	工事着手年度	平成26年度			
再評価理由※	事業採択(H23)後5年経過					
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～H25年度	H26年度	H27年度見込	計
	391		60	132	72	264
事業概要	<p>(1)事業目的 一般県道吉沢金谷線は、菊川市吉沢を起点とし、島田市菊川に至る延長7kmの幹線道路であり、生活・産業・防災面において重要な役割を果たしている路線である。 現道区間は普通車相互のすれ違い困難な狭隘箇所であることから、道路整備を行い、安全で円滑な交通の確保を目的とし、平成22年度に事業着手準備制度を適用し、地元との合意形成を図り、事業実施している箇所である。</p> <p>(2)事業内容 計画概要：延長810m 計画幅員 車道5.5(全幅9.25)m 2車線 現道拡幅 (現道幅員5.4m) 道路工810m</p>					
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 当該区間の現道交通量は3,998台/日(H17センサ)、3,829台/日(H22センサ)と横ばい傾向にあり、事業着手時点から大きな社会経済情勢の変化もないが、現道幅員狭隘で、すれ違い困難な状況の解消と歩行者の安全対策のため、本路線の整備は重要である。</p> <p>(2)事業の投資効果 現時点(H27)の分析結果： B/C=1.30 ・総便益(B) 5.05億円 走行時間短縮便益 4.86億円、走行経費減少便益 0.19億円、交通事故減少便益 0億円 ・総費用(C) 3.88億円 改築費 3.91億円、維持管理費 0.37億円、用地残存価値 -0.40億円</p> <p>(3)事業の進捗状況 事業費ベース： 67.6%(H27末) (264百万円/391百万円) (H27末) 用地面積ベース： 100.0%(H27末) 事業量ベース： 35.6%(288m/810m) (H27末) 工事費ベース： 39.2%(27末) 平成26年度末までに99%の用地取得を完了し、道路工も概ね計画どおりに進捗しており、事業は順調に進んでいる。</p>					
事業の必要性等	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 <input type="radio"/> 視点3による見直し後継続が妥当 <input type="radio"/> 継続は妥当ではない</p>					
【視点2】	<p>今後は、残る1名の用地取得を進めるとともに、道路工事を推進していく予定であり、平成29年度を完了目標に事業を進めるものである。</p>					
今後の事業の進捗の見込み	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 <input type="radio"/> 視点3による見直し後継続が妥当 <input type="radio"/> 継続は妥当ではない</p>					
【視点3】	<p>コスト縮減・代替案立案等の可能性 これまで、路体盛土として他工事発生土を一部流用し、コスト縮減を図っている。 今後も引き続き、新技術・新工法の活用、構造物のプレキャスト化による省力化などによりコスト縮減を図っていく。</p>					
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を(<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し後継続 <input type="radio"/> 中止)する。</p> <p>(2)理由 地域の産業や生活に重要な路線となっており、事業効果が高く、事業も順調に進捗していることから、事業を継続し早期完成を図る。</p>					

(一) 吉沢金谷線 菊川市下倉沢

(「費用便益分析マニュアル」国土交通省道路局 都市・地域整備局 平成20年11月)

総括表

I) 総便益 B	5.05 億円
便益=[評価期間内に当該路線を整備しなかった場合に発生する経費] - [評価期間内に当該路線を整備した場合に発生する経費]	
II) 総費用 C	3.88 億円
総費用=[当該計画道路の建設投資額]+[当該計画道路の検討期間内に必要となる維持管理費]	
III) 費用便益比 B/C	1.30

I) 総便益の算出

①各種費用の H42^{※1}の便益

	走行時間費用 (億円/年)	走行費用 (億円/年)	交通事故損失額 (億円/年)	合計 (億円/年)
整備しなかった場合 A	0.83	0.13	0.02	0.98
整備した場合 B	0.55	0.12	0.02	0.69

便益 A-B	0.28 時間短縮便益	0.01 経費減少便益	0.00 ^{※2} 事故減少便益	0.29
-----------	----------------	----------------	------------------------------	------

- ・「時間便益」：道路整備による走行時間短縮を賃金率等で金銭評価
- ・「走行便益」：走行円滑化による燃費向上等に伴う走行経費節約を金銭評価
- ・「事故減少便益」：道路整備により交通事故件数が減少し事故の社会費用が減少する評価
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

※1 交通需要推計の適用年次

※2 事故減少便益は「費用便益分析マニュアル(国土交通省)」の算定式により算出しており、条件によってはマイナス値になることもあるが、交通事故増加に繋がるものではない。

②総便益の算出

供用後 50 年間を評価期間としているため基準年の年間経費に各年の割引率をかけ、便益を算出し、当該道路を整備しなかった場合とした場合の差を求め、総便益とする。

	将来の便益 H30~H79	
総便益	5.05	…

II) 総費用の算出

[総費用]=[建設投資額]+[維持管理費]-[用地費の残存価値]

事業費 (億円)	建設投資額 (億円)	年間維持管理費 用(万円/年)	維持管理費 (億円)	用地残存価値 (億円)	総費用 (億円)
4.28	3.91	0.37	0.37	0.40	3.88

- ・「建設投資額」：建設費用を算出基準年次の価値で評価するために各年次ごとに割引率をかけ、合計したもの。
- ・「維持管理費」：整備延長に対する年間維持管理費用に割引率をかけ、供用後 50 年間を合計したもの。
- ・「用地費の残存価値」：検討期間後の残存価値を現在価値化したもの。
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

平成27年度公共事業再評価(道路事業)

よしざわかなやせん

一般県道 吉沢金谷線 (菊川市倉沢)

静岡県交通基盤部 道路局 道路整備課

(一) 吉沢金谷線 事業箇所位置図



(一) 吉沢金谷線 事業概要

【事業概要】

事業期間:平成23年度～平成29年度

事業費:3.91億円

事業延長:0.81km

供用開始:平成29年度末

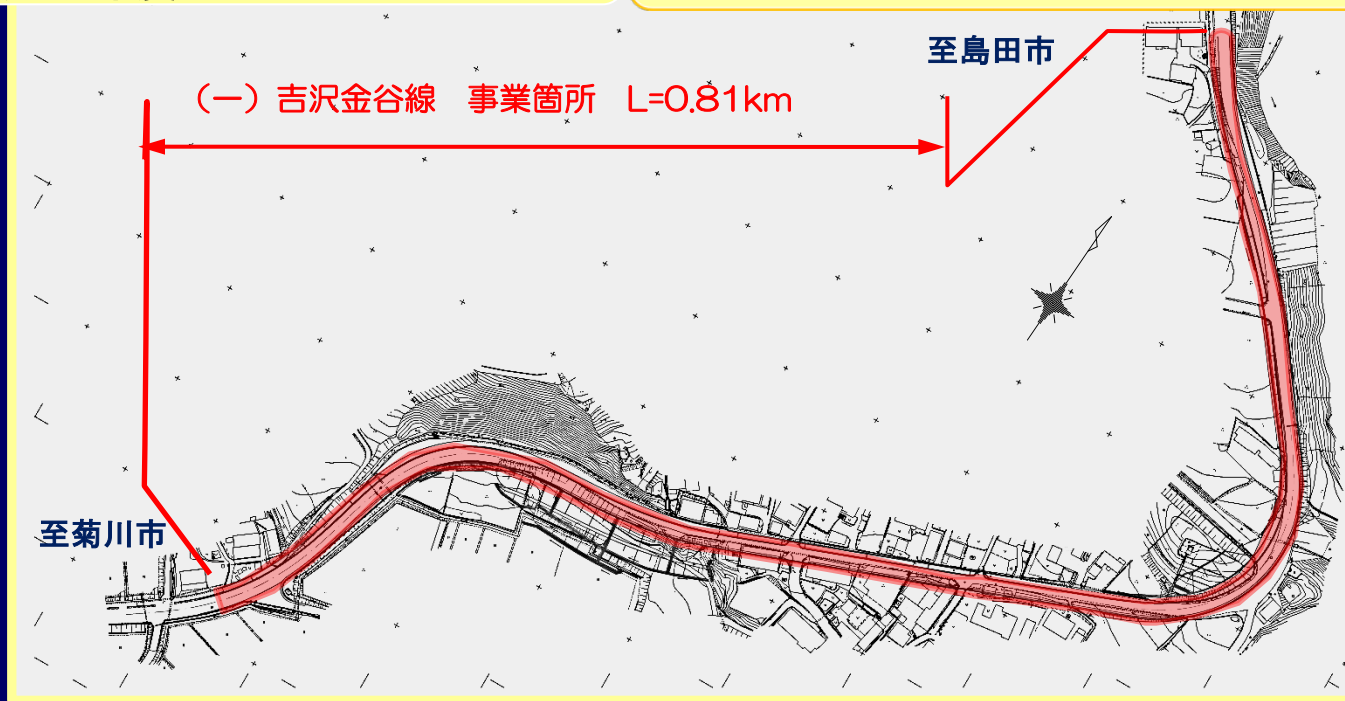
【進捗状況】

事業費:67.6%(H27末見込)

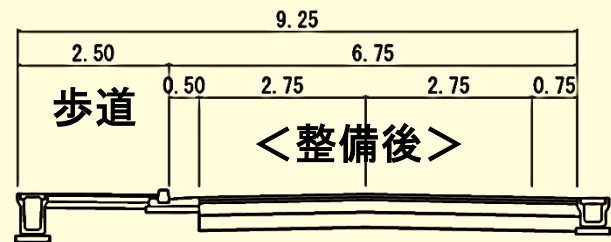
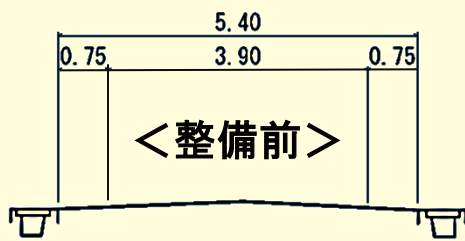
用地面積:100%(H27末見込)

事業量:供用延長 35.6%(H27末見込)

平面図



標準横断面図



(一) 吉沢金谷線 現地状況

